

上 議 第 4 号
令和6年1月10日

上越市長 中川 幹太 様

上越市議会議長 石田 裕一

市民と議会の意見交換会で聴取した市民意見への対応について

市議会では、上越市議会基本条例に基づき、市民と議会の意見交換会を11月9日～12日に開催し、3会場で寄せられた120件の意見等について、課題調整会議においてその対応方針を協議いたしました。

つきましては、課題調整会議で行政運営の参考にしていただきたい「意見等」を整理しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、意見や対応方針等については、議会だよりや議会のホームページ等で公表しますのでご承知おきください。

記

- ・行政運営の参考にしていただきたい意見等 【43件】
詳細は別紙一覧のとおり

No.	意見等	会場
1	来年春に地域協議会委員は改選になるが、定員を割るのではないかと心配している。自主的審議事項と市長からの諮問が中心であり、委員に対するモチベーションが上がらない。	板倉区
2	地域協議会の役割が中途半端な形で進んでいるのが現状と思う。過渡期で、来年の改選には間に合わないとは思いますが、少しずつでも変えていくべきだと思う。	板倉区
3	以前、地区で火災が発生した際、消防車の到着が遅れたが、初期消火を地元の消防団経験者で対応したことにより大きな火災にならずに済んだ。今は消火栓を使えなくなっているが、使えるようにしてほしい。	板倉区
4	冬場は積雪で消火用水の確保が不安で、火災が心配。上越市は消火栓の操作は消防団員でないと行えないことになっているが、糸魚川市では消防団OBであれば操作できると聞いている。議会では議論されていないのか。	板倉区
5	地域協議会で糸魚川市に視察に行った。上越市ではホースや格納庫は町内会の管理になっているが、当町内には消防団がなく、隣の町内会の消防団に頼んで動いてもらっている状態である。議会として課題の根本的なところを整理して行政に働きかけてほしい。	板倉区
6	高齢者安全運転支援装置設置補助で、令和4年度の交付件数が577件とあるが、実際に事故は減ったのか。	板倉区
7	子ども（高校生）の通学時に利用できる公共交通機関が少なく不便である。高校は高田地区に集中しており、バスや電車の便も悪い。住んでいる地域によって負担する交通費が大きく違うのも何とかならないものか。定期券は土日を除く料金設定にしてほしい。朝の通学用の巡回バスがあってもいいのではないかな。	こどもセンター
8	高校生の通学に関しては、実際に通学する高校が決まった後に、様々な問題点が浮き彫りになる。中学生の時に、高校を選択する過程では、電車やバスの便の不便さや定期代については気が付かない現状があるだろう。	こどもセンター
9	市民税の控除について、自治体によっては、妊娠して産休育休入るタイミングで控除される場所がある。確認したが上越市はやってない。翌年からは控除があるが、支払いが大変である。現状に見合った控除があれば良いと思う。	こどもセンター
10	Iターン、Uターンをもっと推進した方がいいのではないかな。戻ってくる理由の1つとして子育て環境の充実があるのではないかな。	こどもセンター
11	五智公園が改修され、子どものフリースペース的な機能を持たせた施設ができるという話があるようだ。そのような利用が促進できればと思う。	こどもセンター
12	直江津にもこどもセンターがほしい。雪が降ると高田まで来るのが大変。	こどもセンター
13	市のオンラインの移住セミナーを受け、最近上越にUターンしてきた。移住前に住んでいた札幌市は人口が多いので子育て支援施設が充実していた。保育園に併設した施設が点在していて、保育士が常駐し、ワンストップで気軽にいろいろな相談ができる体制がある。札幌は冬期間、外遊びができないので、おもちゃやイベントが充実しているのもよかった。	こどもセンター
14	子育て世帯へは、給付より支援、お金より集まる場所を作してほしい。札幌市は移住者が多く、コロナ禍の影響もあり、仲間づくり、コミュニティづくりを支援する団体・イベントが多かったのが、外から来た人も仲間を作ることができた。	こどもセンター
15	妊婦、子どもに対してのどのような施策があるかわからない。冊子等はもらうが、産休に入るまでは時間が取れず見ることができない。情報はたくさんあるが、周知がされていないと感じる。手続きが面倒。手書きのハードルも高く、今ならネットで完結できるのではないかなと思う。	こどもセンター

No.	意見等	会場
16	助産師に相談できる産後ケア事業はとてもありがたかったが、産後1年を過ぎると有料になってしまうのは残念だ。オーレンプラザこどもセンターの相談窓口は保育園のことなどもいろいろと相談に乗ってくれて助かっている。市役所まで行くのはなかなか大変。	こどもセンター
17	産前産後ヘルパー制度を2回程度利用してみた。困った時に助産院があればと思う。	こどもセンター
18	ベビーシッターは、金銭的にハードルが高い。お試的に利用できる制度があれば、ハードルが下がるのではないかと。初回の1回分の料金を補助してもらえるとありがたい。	こどもセンター
19	ごみ袋の引換券支給はありがたい。おむつの支給も検討してほしい。食事を作ることも大変なので、ミールキット等の配布もあったら助かると思う。	こどもセンター
20	おむつの支給もありがたいが、基本のものが揃っているはじめてボックスのようなものがあればいいと思う。子ども用品は、長く使うものが少ないので、リサイクルやリースがあれば良いと思う。	こどもセンター
21	子育てinfoは、保育園の情報を知ることができて助かった。	こどもセンター
22	全国的に保育園での虐待事案が報道され心配なので、市で見回り等を行ってほしい。保育園を信用しているが、第三者による見回りがあれば安心する。	こどもセンター
23	自宅から勤務先まで距離があり、勤務が午前8時からなので、7時30分開所の保育園では時間的に厳しい。勤務先に近い園に預けるという選択肢もあるが、7時から預かってくれる保育園がもっと増えるといいと思う。	こどもセンター
24	上越市に移住してきたタイミングが保育園の入園申込期間と合わず、来年度、希望する園への入園が難しいので、今困っている。二次募集や一時保育の利用など、相談窓口で相談しているところである。	こどもセンター
25	年度途中からの入園は、1か月前からの申し込み。育休はだいたい1年なので、0、1歳児の枠が狭くてなかなか入れない。国の基準で、こども3人を保育士1人で見るというのがあるが、厳しいのではないかと。保育士の成り手不足も一因だと思う。	こどもセンター
26	現在第2子を妊娠中で、里帰り出産を予定している。上の子どもと一緒に連れて里帰りする予定だが、園に籍をおいたままにすると、毎月保育料がかかる。	こどもセンター
27	病児保育は1日の料金が高いので補助があれば助かる。送迎もあれば安心。家庭だと体調の変化などに気付けない場合もあり、看護師に看てもらえるのは安心。	こどもセンター
28	ファミリーサポートセンターの利用における補助金が増えたのは良かった。会員になっているが、知らない人に預けることが心配なこと、会社で補助が出るので実際に利用したことはない。	こどもセンター
29	こどもセンターの一時預かりは、枠が少なく、1か月前に連絡しても預けられない場合もある。	こどもセンター
30	上越市の一時預かりについて、生後7ヶ月より前は預けられない。民間で利用したこともあるが、料金が高い。補助をして、もう少し値段を下げて使いやすいうようにしてほしい。	こどもセンター
31	家事、育児に関して、夫が協力的で育休も取得した。しっかり1か月単位で取得し育児に参加しないと意味がないと思う。	こどもセンター
32	両親に頼れないので、2人で1年間育休をとった。夫は家事、育児に協力的で頼りになるが、金銭的に大変である。	こどもセンター
33	妊産婦医療費助成や子ども医療費助成で自己負担が無料になりありがたい。他県の友人から羨ましがられる。	こどもセンター

No.	意見等	会場
34	インフルエンザの予防接種について、子どもは2回受けなければならないため、大人の料金の倍かかる。また、子どもの方が重症化のリスクが高い。高齢者には補助があるが、赤ちゃんに補助がないのはなぜ。1回分だけでも補助があってほしい。	こどもセンター
35	新潟労災病院の閉院問題について、病院周辺の東雲町の住民はあまり関心を持っていないように感じるが、昔から直江津に住んでいる者としては放っておけない問題。住民説明会に来る人は年齢層が高めで、若い人が少なかった。もっと若い世代も考えていく必要がある。閉院後の施設は、川辺の立地を活かして住民が集える、教育機関やリハビリ施設、商店など複合的な施設にできたらいいのではないか。特徴のある教育施設があれば、そこを目当てに家族で移住という人が増えるかもしれない。	こどもセンター
36	棚田は、整理された平場とは違う。1年に1頭クマの駆除をしているが、クマの他にもイノシシやシカ等が頻繁に生活圏に現れ、ほ場を荒らす。秋田県では、駆除に関していろいろ意見があることが報道されていた。個人的に駆除を良しとは思わないが、共存は難しいと言わざるを得ない。全国的な問題として早急に対策をしてほしい。適正な生息数に管理するため、食糧となる植物を森林内に植えるなどしてはどうか。杉林の手入れがされていないのも問題だと思う。	板倉区
37	魚沼産コシヒカリを見習って、上越でもブランド米を育てるべきだと思う。	安塚区
38	市道除雪報償金制度について、大変良い制度なので、来年度以降も継続するようお願いしたい。集落としては大変助かっている。	板倉区
39	中学校の部活動について、学校によっては部活動の選択肢が限られる。希望する部活動がない場合は地域のクラブチームなどに所属するが、学校の部活動より費用が高くなってしまふ。何らかの補助があってもいいのではないか。	こどもセンター
40	直江津地区に高校がなくなってしまう寂しいと感じている。キャリアに連結する郷土愛が育たない。学ぶ場所があり、働く場所があるという繋がりが途絶えてしまう。人材がリターンしにくい現状がある。	こどもセンター
41	廃校になった学校の備品で、まだ使えるものや価値あるものが眠っている。なぜ、利活用や処分が進まないのか。	板倉区
42	フリーでIT関係の仕事をしているが、コワーキングスペースは24時間利用可能なところが1か所しかなく、他は18時までのところが多い。IT業界の場合、あまりよくないことだが、18時で終われる仕事はあまりない。家でやるしかない状態なので、気軽に利用できる場所が増えればよいのかなと思う。	こどもセンター
43	上越市の観光を盛り上げるために、春日山に春日山城を復元してはどうか。	安塚区